

病診

連



公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院

携

NEWS

TEL 052-652-7954

地域医療
支援センター

2025年

12月

整形外科・手外科

小野
裕太郎

人工関節

名古屋救済会病院で**人工関節**を担当させていただいております。小野裕太郎です。

当院では3次救急病院として断らない救急外来を目指し、整形外科も外傷や手の外科を中心として皆様とともに地域治療に貢献してまいりました。

一方、高齢社会を迎える中で、人工関節へのニーズは拡大傾向にあり、当院整形外科では、

人工股関節、**人工膝関節**の手術も積極的に施行しております。2024年は130件、2025年も9月時点で80件の人工関節手術を施行しております。

人工股関節では、

前方アプローチ（DAA: Direct Anterior Approach）に

よる人工股関節手術を標準術式として採用しており、低侵襲で機能回復の早い治療を提供しています。

前方アプローチは、股関節の前方から進入する手術法で、筋肉を切離せずに筋間を展開する

ことが大きな特徴です。これにより、従来の後方または側方アプローチに比べ、筋損傷が少なく、術後疼痛の軽減、脱臼リスクの低下、早期離床・早期歩行が可能といった利点があります。当科では術中にX線透視や整列ガイドシステムを併用し、インプラントの正確な設置を行うことで、再現性の高い良好な成績を目指しています。

人工膝関節においても、

術前にはCT画像を基に3Dシミュレーションを行い、個々の骨形態や脚長差を詳細に分析します。これにより、適切なサイズ・設置角度を事前に計画し、術後のバランス改善と安定性の向上を図っています。



病診連携



公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院

Tel 052-652-7954

NEWS 地域医療支援センター



リハビリテーションは術翌日から開始し、多くの患者さんが術後1週前後で歩行器歩行、2週程度で杖歩行まで回復されます。平均的な入院期間は2〜3週間程度で、早期社会復帰を目指しています。

当科では、かかりつけ医の先生方との病診連携を重視しております。術前検査や全身状態の管理は地域の先生方と連携して行い、

糖尿病や高血圧など慢性疾患を有する患者さんに対しても、安全な周術期管理が可能な体制を整えています。退院後は、一定期間当科で経過観察を行ったのち、**主治医の先生方へ逆紹介し、骨粗しょう症の治療介入等、長期的なフォローアップをお願いしております。**

手術適応の判断やご紹介の際には、診療情報提供書およびX線などの画像データをご送付ください。当科外来にて速やかに評価し、治療方針をご報告いたします。

人工関節手術

紹介・ご相談は当院 地域医療支援センターまでお気軽にご連絡ください。

今後とも地域医療機関の先生方と連携を深め、安全で高品質な整形外科医療を通じて、地域の患者さんのQOL向上に貢献してまいります。



名古屋救済会病院
整形外科・手外科
小野 裕太郎

月	火	水	木	金
熊谷	佐々木(宏)	丹羽	佐々木(梨)	太田
丹羽 加納	小野	日高	加納	小野
大隈	岩城	爲本	高見	張
-	梶田	半田	内堀	服部

